

地域で学び、 地域とともに 成長する

山々に囲まれた茶畑が一面に広がり、静岡のマチュピチュとも称される大代地区



静岡大学では「地域志向大学」を宣言し、地域との協働による課題解決を通して、地域社会の価値の創造と持続的な発展に貢献することを目指しています。地域と連携する授業や、地域の方との交流拠点、教育・研究の公開の場について特集します。

農業・農村の課題を体験を通して学ぶ農学部授業 「農業環境演習」

「農業環境演習」では、静岡市葵区北部梅ヶ島地区の中山間地域、大代地区に3年間訪問。学生は地区の方と一緒に農作業を行いながら、地区の状況をじっくりと自ら体験し理解します。そのうえで、地区の将来や存続のために学生ができることを考え、地区の方に相談しながら課題解決のためのチームに分かれ活動を行います。



渡邊 拓 農学部 准教授

中山間地域に入り、農作業などをしながら地区の魅力や課題に気づき、それらの維持や解決する能力に磨きをかけてほしいと思っています。将来、中山間地域で得た経験をもとに、様々な分野で活躍出来る人材になってほしいです。

茶産業の促進・景観維持のために

高齢化により耕作放棄される茶畑の発生を防ぐべく、収穫した茶葉の製茶、加工から販売までを手伝います。より多くの方に魅力が伝わるよう、パッケージの開発、大代で地元産の美味しいお茶を味わえる「天空茶屋」の開設、SNSによる発信強化など、地区の方とともに日々挑戦しています。



急傾斜地で機械化が困難な茶畑は作業が大変な一方、美しい景観の理由となっています。茶産業を維持することは地区の存続に直結しています。(右の写真は「天空茶屋」店内)

大代のライフラインを守るために

上水道がなく、川の上流から直接水を引き、「水みち」を通して分配している大代地区。取水口の落ち葉等のつまりや水源までの山道の崩落の点検・整備のほか、獣害による被害を防ぐ電柵の点検・整備を、地区の方と相談しながら実施しています。



水みちも電柵も険しい山での作業。人口減少・高齢化が施設維持の困難につながるため、学生の活動が継続の一助になればと考えています。

伊豆半島で教育機関、地域住民、企業や自治体などと連携 東部サテライト「三余塾」

静岡県東部地域における本学の教育・研究・産学連携の拠点として、伊豆市に2020年に設置。教職員が常駐し、「協働のパートナーを見つける」「学び」「情報を得る・仲間に出会う」という3つの「場」の機能を備えています。



伊豆未来デザインラボセミナー

月1回、伊豆の地域活性化に関心をもつ企業や団体、本学が、互いの取り組みを共有。様々なコラボレーションも生まれています。伊豆で活動する静大生が発表することも!



公開講座

教員による公開講座のほか、子どもたちに伊豆の自然に親しんでもらおうと、静大キャンパスミュージアムや学生が運営に関わり、野鳥観察会等を開催。



フィールドワークの実施

学生のフィールドワークの一環として、高校生向けにフォトグラメトリーを通じて点群データからオリジナル3Dモデルを作るワークショップを開催。



内山 智尋
未来社会デザイン機構 講師

伊豆半島は、高齢化が進む中での地域振興、防災対策など、研究・学びの観点が多く、教員の知見や大学生の活躍への期待も大きいです。一緒に伊豆半島で活動してみませんか?

日々更新中!
最新情報はこちら!
東部サテライトだより



この機会に、大学にいらっしやいませんか? 静大フェスタ&静大祭開催

年に一度、教育研究の成果や取り組みを「おもしろ実験・体験」「研究室ツアー」や展示などで地域の方々に紹介しています。研究者や学生たちから直接説明などが聞ける貴重な機会です。



2024年も11月に 静大祭(学生の課外活動が主体)と同時開催!

静岡キャンパス…キャンパスフェスタ、静大祭、農学祭
浜松キャンパス…テクノフェスタ、静大祭 in 浜松
開催日程は、静大フェスタサイトでご確認ください。

静大フェスタサイト

